マナビエ
MANABIE

記述の設計図　第2部 根拠を見つける

U02　筆者の言いたいことの目印

ベーシック

対象：小学5年・偏差値55〜60

1. 要点（ルール）
2. 例題　説明文「質問する勇気」
3. 練習1・練習2（解答らんつき）
4. 解答と採点表

要点　言いたいことの目印のルール

R02-1　主張と強調の目印

主張＝「～べきだ」「～しよう」「～ではないだろうか」「～でよいのだろうか（いや、よくない）」。強調＝「大切」「必要」「こそ」「実は」「問題は」。見つけたら、その言葉だけでなく一文まるごとに線を引く。

R02-2　だれの意見かを確かめる

「～と言う人もいる」「～と考える人は多い」の中の「大切」は、筆者の意見とはかぎらない。そのあとに「しかし」が来て、筆者が打ち消すことが多い（傾向）。文の終わりまで読んで、だれの考えかを確かめる。

R02-3　具体例のサンドイッチ

具体例は、言いたいことを伝えるための材料。言いたいこと（まとめ）は、例の前・後ろ・両方のどれかにある。「つまり」「このように」の後ろはまとめのことが多い（傾向）。でも、まとめ言葉が無い・まとめが例の前だけ、ということもある。例の前と後ろを両方読んで、「この例で何が言いたいの？」と考える。

R02-4　問いと答え

筆者が「～だろうか」と問いを出したら Q、その答えに A をつける。大事なのは答えのほう。答えは問いのすぐ後ろとはかぎらない。A を見つけたら、問いとならべて「答えになっているか」を読み直す。

R02-5　定義の目印

「～とは」「～というのは」「～ということは」＝その言葉についての筆者の結論。ただし「雪がふるとは思わなかった」のような、おどろきの「とは」は定義ではない。文の終わりまで読み、「Aとは〇〇である」の形か確かめる。

R02-6　目印は答えの材料

目印の文は、記述の答えの材料の候補。要素表に「段落の番号」と「目印の種類（主張・まとめ・答え・定義）」を書いてから使う。目印がたくさんあるときは、問いとならべて、答えになっているものをえらぶ。

R02-7　採点は要素ごと

いちばん大事な要素が5点、それを支える要素が3点、形（例の言葉を使っていない・文のおわり）が2点。目印のない文や、筆者が打ち消した考えを書くと、点にならない。

ルールの番号（R02-〇）は、講座全体の通し番号です。動画・Webページ・このPDFで同じ番号を使っています。

例題　説明文「質問する勇気」

① 授業で先生が「何か質問はありますか」と聞いても、教室はしんとしていることが多い。わからないことがあっても、手をあげるのははずかしいと感じる人が多いからだ。みんなの前でわからないと言うと、自分だけがおくれているように思われそうで、こわいのである。

② では、質問することは、ほんとうにはずかしいことなのだろうか。

③ ある日の算数の時間、ミナミさんが手をあげて、「どうして、分数のわり算は、ひっくり返してかけるのですか」と質問した。先生が図をかいて説明すると、何人もの人が「わたしも、それが知りたかった」と言った。ミナミさんの質問のおかげで、クラスのみんなが、わり算のしくみをわかるようになったのである。

④ このように、一人の質問は、同じ疑問をもちながら手をあげられなかった多くの人を助けることがある。

⑤ 質問するとは、わからない自分を人に見せることではない。わかろうとして、自分から一歩をふみ出すことなのである。わからないことをそのままにしておくほうが、ずっともったいない。

⑥ わからないときこそ、勇気を出して手をあげるべきだ。その一歩は、自分だけでなく、となりの席の友だちの一歩にもなるのだから。

問　――線部「質問することは、ほんとうにはずかしいことなのだろうか」という問いに、筆者はどのように答えていますか。本文の言葉を使って五十字以内で書きなさい。

解き方

1. **手順1　問いに Q をつける**
   ②段落の「～なのだろうか」は、筆者が自分で出した問い（R02-4）。答え（A）をさがしながら読む。
2. **手順2　目印をさがす**
   ③段落＝ミナミさんの具体例。／④段落「このように」＝例のまとめ（R02-3）。／⑤段落「質問するとは～ことなのである」＝定義（R02-5）。／⑥段落「こそ」「べきだ」＝主張（R02-1）。
3. **手順3　問いとならべる**
   問いは「はずかしいことなのか」。⑤段落「わからない自分を人に見せることではない。わかろうとして、自分から一歩をふみ出すこと」が、まっすぐな答え。④段落は、それを支える答え。⑥段落の「手をあげるべきだ」は主張だが、「はずかしいか」への答えではなく、そこから出てくるすすめ。
4. **手順4　文にする**
   「はずかしいことではなく」と問いに正面から答え、⑤の定義 → ④のまとめの順につなぐ。ミナミさんの話（例）はそのまま書かない。

要素表(材料を集める)

要素	中身	根拠	入れる？
答え(定義)	はずかしいことではなく、わかろうとして自分から一歩をふみ出すこと	⑤	◎ 入れる
答えを支えるまとめ	一人の質問は、同じ疑問をもつ多くの人を助けることがある	④	○ 入れる
主張(すすめ)	わからないときこそ、手をあげるべきだ	⑥	△ 問いへの答えではない
具体例	ミナミさんの分数のわり算の質問	③	× そのまま書かない

模範解答

模範解答　50字／50字以内

はずかしいことではなく、わかろうとして一歩をふみ出すことであり、同じ疑問をもつ人を助けることもある。

採点表

採点表(要素ごとの配点)	点
いちばん大事なこと:わかろうとして、自分から一歩をふみ出すこと(⑤の定義)	5点
支えること:一人の質問が、同じ疑問をもつ多くの人を助ける(④のまとめ)	3点
「はずかしいことではない」と、問いに正面から答えている	1点
ミナミさんの話(例)をそのまま書いていない	1点
合計	**10点**

減点の型(こう書くと)	何点になる？ なぜ？
「わからないときこそ、勇気を出して手をあげるべきだ。」	⑥の主張だけ。「はずかしいか」への答えになっていない。10点中1点。
「ミナミさんの質問でクラスのみんながわかるようになった。」	具体例のまま。まとめになっていない。10点中1点。
「はずかしいことではない。」	答えの向きは合っているが、なぜそう言えるのか(中身)が無い。10点中1点。

練習1　説明文「一まいの布」

① 決まった形をもたない道具ほど、使い道は広がる。

② 日本には、昔からふろしきという布がある。ふろしきは、ただの四角い一まいの布だ。けれども、箱を包めば箱の形に、びんを包めばびんの形になる。二本のびんをならべて包むことも、丸いスイカを包んで持ち運ぶこともできる。

③ 包むだけではない。広げれば、ピクニックの敷物になる。はしとはしを結べば、手さげのかばんにもなる。寒い日には、首にまいて、えりまきの代わりにすることもできる。

④ これにくらべて、紙ぶくろはどうだろう。紙ぶくろは、はじめから形が決まっている。大きな箱は入らないし、細長いものは、上からはみ出してしまう。紙ぶくろを敷物にしようと思う人は、まずいないだろう。

⑤ つまり、ふろしきは、包むものに合わせて、自分の形を変えることができるのだ。

⑥ 形が決まっていないということは、足りないことのように思えるかもしれない。しかし、その足りなさがあるからこそ、使う人の工夫が入りこむすきまが生まれるのである。

問　――線部「ふろしきという布」の例を通して、筆者が言いたいことは何ですか。五十字以内で書きなさい。

① 要素表を書こう

材料（目印の種類も書く）	中身	根拠の段落

② 答えを書こう

10　20
30　40
50

50字以内（1マスに1字。句読点も1字）

練習2　説明文「やさしさとは」

① 「人にはやさしくしなさい」と、わたしたちは小さいころから何度も言われてきた。けれども、やさしくするとは、どうすることなのだろう。ある兄弟の話から考えてみたい。

② 小学一年生のタクミは、くつひもを結ぶのが苦手だ。朝、げんかんでもたもたしていると、五年生の兄のハルは、つい代わりに結んでしまう。そのほうが早いし、タクミもよろこぶからだ。

③ ところが、ある朝、二人の母が言った。「ハルが毎日結んであげていたら、タクミはいつまでも結べるようにならないよ。」

④ 困っている人がいたら、なんでも手伝ってあげることが大切だ、と考える人は多い。ハルも、ずっとそう思っていた。

⑤ しかし、やさしさとは、相手の代わりに何でもしてあげることではない。相手が自分の力でできるようになるまで、手を出したいのをがまんして、そばで見守ることも、やさしさなのである。

⑥ 次の朝、ハルはタクミの横にしゃがんで、結び方をゆっくりやって見せた。タクミは三回失敗して、四回目にやっと結べた。そのときのタクミの顔は、ハルが結んであげていたころよりも、ずっとうれしそうだった。

⑦ 手を出したくなったときこそ、一度立ち止まって、相手の力を信じてみてはどうだろうか。

問　――線部「やさしくするとは、どうすることなのだろう」とありますが、筆者は「やさしさ」をどのようなものだと考えていますか。本文の言葉を使って六十字以内で書きなさい。

① 要素表を書こう

材料（目印の種類も書く）	中身	根拠の段落

② 答えを書こう

									10										20
									30										40
									50										60

60字以内（1マスに1字。句読点も1字）

解答と採点表

練習1　説明文「一まいの布」

解き方

1. **手順1　例の前と後ろを両方読む**
   ②〜⑤段落がふろしき（と紙ぶくろ）の具体例。まとめは例の前（①）と後ろ（⑥）の両方にある＝サンドイッチ（R02-3）。

2. **手順2　まとめ言葉にだまされない**
   ⑤段落の「つまり」の後ろは「ふろしきは〜形を変えることができる」。まだふろしきの話＝例の中のまとめにすぎない。「つまりの後ろはまとめ」は傾向で、これがその例外。

3. **手順3　まとめ言葉の無いまとめ**
   ①段落「決まった形をもたない道具ほど、使い道は広がる」には、まとめ言葉が無い。でも、ふろしきにも紙ぶくろにも当てはまる、いちばん広い言い方＝筆者の言いたいこと。

4. **手順4　強調の目印**
   ⑥段落「〜からこそ」（R02-1）。なぜ使い道が広がるのか＝使う人の工夫が入りこむすきまが生まれるから。

5. **手順5　文にする**
   ①（使い道が広がる）と⑥（工夫が入りこむすきま）をつなぎ、「ふろしき」「紙ぶくろ」の言葉を使わずに書く。文のおわりは「〜ということ。」

要素表

要素	中身	根拠	入れる？
まとめ（例の前）	決まった形をもたない道具ほど、使い道は広がる	①	◎ 入れる
まとめ（例の後ろ・強調）	形が決まっていないから、使う人の工夫が入りこむすきまが生まれる	⑥	○ 入れる
例の中のまとめ	ふろしきは、包むものに合わせて形を変えられる（「つまり」）	⑤	△ ふろしきの話のまま
具体例	箱・びん・スイカ・敷物・かばん／紙ぶくろ	②〜④	× そのまま書かない

模範解答

模範解答　47字／50字以内

決まった形をもたない道具は、使う人の工夫が入りこむすきまがあるので、使い道が広がるということ。

採点表

採点表(要素ごとの配点)	点
いちばん大事なこと:決まった形をもたない道具ほど、使い道が広がる(①)	5点
支えること:使う人の工夫が入りこむすきまがある(⑥)	3点
「ふろしき」「紙ぶくろ」など例の言葉を使っていない	1点
文のおわりが「〜ということ。」	1点
合計	**10点**

減点の型(こう書くと)	何点になる？ なぜ？
「ふろしきは、包むものに合わせて自分の形を変えられるということ。」	⑤の「つまり」の後ろだが、ふろしきの話のまま。いちばん大事な5点のうち2点。
「紙ぶくろは、大きな箱が入らないということ。」	くらべるための例。0点。
「形が決まっていないのは、足りないことだということ。」	⑥で筆者が「〜ように思えるかもしれない。しかし」と打ち消している。0点。

練習2　説明文「やさしさとは」

解き方

1. **手順1　問いと定義の目印**
   ①段落の――線部は問い(Q)。答え(A)は⑤段落の「やさしさとは〜ではない。〜も、やさしさなのである」＝定義の目印(R02-4・R02-5)。
2. **手順2　だれの意見か確かめる**
   ④段落「なんでも手伝ってあげることが大切だ」には「大切」があるが、「と考える人は多い」＝ほかの人(と、前のハル)の考え。すぐ後ろの⑤段落で「しかし」と打ち消される(R02-2)。
3. **手順3　例をまとめる**
   ②③⑥段落のくつひもの話は具体例。「くつひもを結んであげない」とは書かない。
4. **手順4　文にする**
   「相手の代わりに何でもしてあげることではなく」(打ち消し)→「相手が自分の力でできるようになるまで、そばで見守ること」(中心)。本文の「も」を落として「見守ることだけ」と言い切らない。

要素表

要素	中身	根拠	入れる？
答え(定義)	相手が自分の力でできるようになるまで、手を出さずにそばで見守ることも、やさしさ	⑤	◎ 入れる
打ち消される考え	相手の代わりに何でもしてあげることではない	④⑤	○「～ではなく」の形で入れる
ほかの人の意見	なんでも手伝ってあげることが大切だ(「と考える人は多い」)	④	× 筆者の意見ではない
具体例	タクミのくつひも	②③⑥	× そのまま書かない

模範解答

模範解答　56字／60字以内

相手の代わりに何でもしてあげることではなく、相手が自分の力でできるようになるまで、そばで見守ることもふくむもの。

採点表

採点表(要素ごとの配点)	点
いちばん大事なこと:相手が自分の力でできるようになるまで、(手を出さずに)そばで見守ること	5点
支えること:相手の代わりに何でもしてあげることではない	3点
くつひもの話(例)をそのまま書いていない	1点
文のおわりが「～もの。」「～こと。」で、問いに合っている	1点
合計	**10点**

減点の型(こう書くと)	何点になる？ なぜ？
「困っている人がいたら、なんでも手伝ってあげること。」	④段落の「と考える人は多い」の中身＝筆者が打ち消した考え。本文と逆。0点。
「タクミのくつひもを結んであげないこと。」	具体例のまま。0点。
「相手の代わりに何でもしてあげることではないもの。」	打ち消しだけで、どういうものかが無い。10点中3点。

マナビエ
MANABIE

記述の設計図　U02 言いたいことの目印(ベーシック)

© MANABIE　無断転載・複製・改変・再配布を禁じます